

授業支援システム Calabo 利用マニュアル

1. 概要

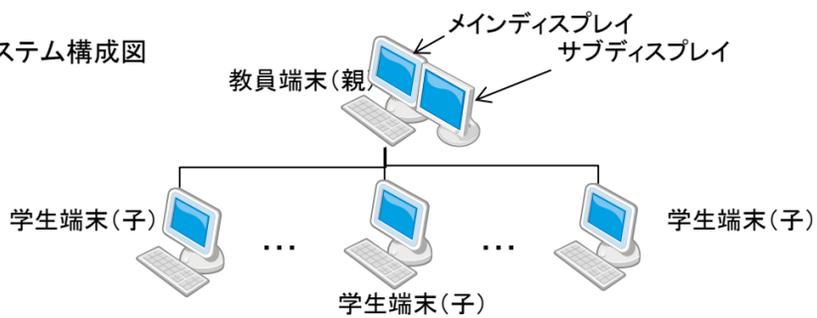
兵庫医療大学の各情報処理演習室およびディスカッションボードでは、授業支援システムとして Calabo が導入されており、教員端末から以下の主な機能を利用することができます。

システムは各演習室(3室)、ディスカッションボード群の4グループで管理され、各々で利用することができます。

主な機能

- ・全学生画面のサムネイル表示(ほぼリアルタイム)
- ・学生画面を、教員画面や、学生画面(全台)へ提示
- ・学生画面を、教員画面から操作
- ・教員画面を、学生画面へ提示
- ・教員から学生へファイル配布
- ・学生から教員へのファイル提出
- ・教員、学生間チャット

システム構成図



教員・各種操作画面の構成

教員用端末はディスプレイが2つ用意されており、2画面で1つのデスクトップが構成されます。ログイン後、Calaboを起動すると以下のように、サブディスプレイには操作画面が表示されます。この操作画面より、学生端末に対し各種操作を行うことが可能となります。



学生端末の画面

授業支援システムのCalaboを教員端末で起動すると、学生端末のデスクトップには右のような学生用操作パネルが表示され、各種操作が可能になります。



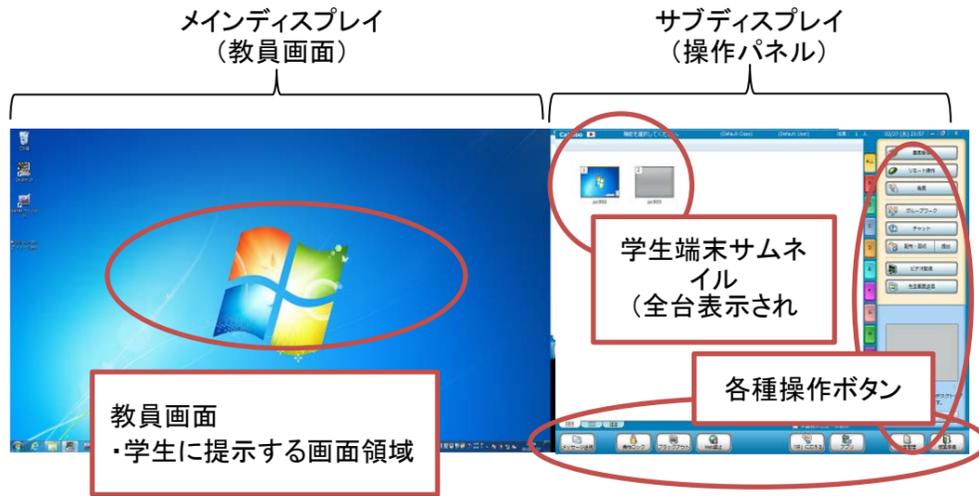
2. 基本操作

教員画面

Windows へログイン後、Calabo アイコンをダブルクリックし、起動します。



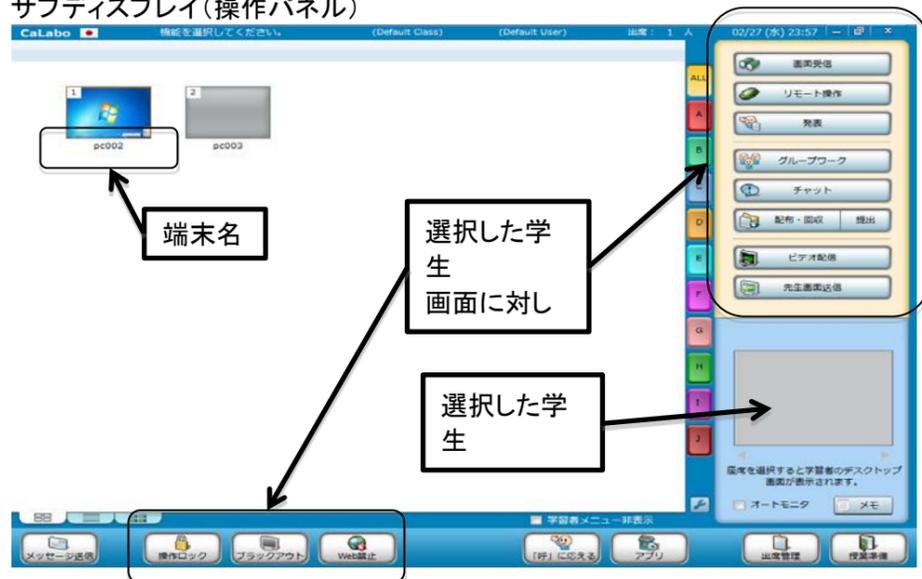
起動後は以下の画面構成となります。



基本操作

1. 操作パネルからサムネイルから学生端末を選択する
2. 操作したいボタンを押す
3. 操作を終了したい場合には、再度操作ボタンを押す

サブディスプレイ(操作パネル)



学生画面

Calabo の管理下に入ると、学生画面デスクトップ右下に、学生用画面が表示され各種操作を行えます。



3. 画面操作

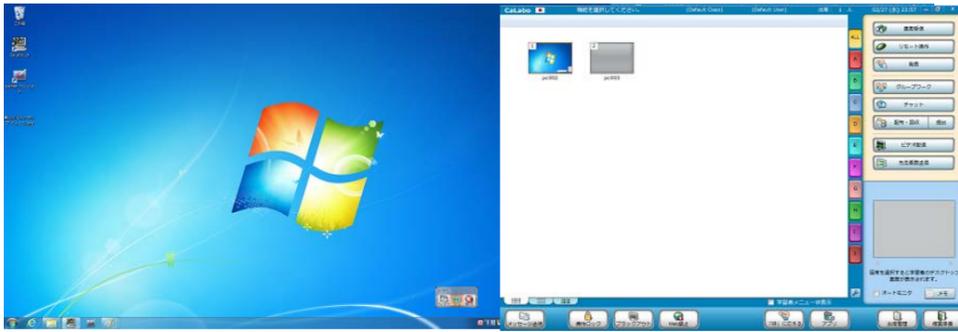
学生画面をロックする

- サムネイルからロックしたい学生画面を選択する
(全台に表示させたい場合は、学生画面外の白い領域をクリックし選択を解除する)
- 操作パネル左下の操作ロックボタンを押す
- ロックを外したい場合には、再度ロックボタンを押す



学生画面を教員画面に表示する

- サムネイルから表示したい学生画面を選択します。
- 操作パネルの画面受信ボタンを押す
- 学生画面が、全画面でメインディスプレイに表示

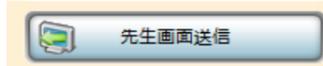


- 受信した学生画面上には、右のアイコンが表示されます。
- ウィンドウアイコンから、全画面表示をウィンドウ表示に変更できます。
続けて、フィットアイコンを押し、受信した画面をウィンドウに合わせ、縮小表示が可能です。
(注意)
学生画面は操作できません。
- 終了する際には、閉じるアイコンを押し終了します。



教員画面を学生画面に表示する

- 表示させたい学生画面を選択する
(全台に表示させたい場合は、学生画面外の白い領域をクリックし選択を解除する)
- 先生画面送信ボタンを押す
- 学生画面左上に、ウィンドウとして、教員のメインディスプレイが全画面表示される
操作作用のパネルとして右側のアイコンが表示される



- 操作作用パネルから各種操作が行えます。
 - ポーズ
押した瞬間の画面情報のまま学生端末に表示されます。
押した状態だと、教員画面の操作は学生端末には見えません。
再度ポーズボタンを押すことで、解除できます。
 - ウィンドウ
学生端末上で、全画面表示となっている教員画面をウィンドウサイズに変更できます。
 - ePen
押すと右のペンツールが、画面左上に表示されます。
 - ペンマークをクリックし絵が描けます。
 - 右端のボタンをクリックし、絵をクリアします。
 - その他マークにて、ペンの色/線種を選択できます。
 (注意)
描いた絵は保存できません。
- 操作作用パネルの閉じるを押し、画面送信を終了します。



学生画面を操作する

- サムネイルから学生画面を選択します。
- 操作パネルからリモート操作を選択します。
- 学生画面がメインディスプレイに全画面表示され、右のアイコンが表示されます。
- リモートアイコンを押すことで、学生画面のマウスを操作できます。
- ePenを押すことで、学生画面内にマウス操作で絵を描けます。
(注意)
教員画面のePenと同様に操作が可能です。
絵は保存できません。
- 閉じるから終了することができます。



4. チャット

学生とチャットする

特定の学生(端末)もしくは複数の学生とメッセージの交換が可能で、交換されたメッセージはテキストデータとして保存することができます。

1. サムネイルからチャットしたい、学生(端末)を選択します。
2. 操作パネルからチャットボタンを押します。



3. 以下のチャットボードが起動します。



4. 下段の欄に、メッセージを入力し、Enterキーを押す、もしくは送信ボタンを押して送信します (送信時には学生端末にも同様の画面が表示され、メッセージの交換ができます)

5. 相互にやり取りされたメッセージはボードに表示されていきます。

6. ボードに表示されたメッセージはテキストデータとして保存することができます。

その他、以下のことが行えます。

7. テーブルを追加することで、複数のチャットを並行して行えます

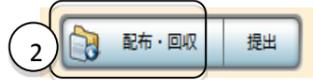
8. テーブル内に、参加者を追加することで、複数人と同時にチャットが行えます。

5. ファイル配布

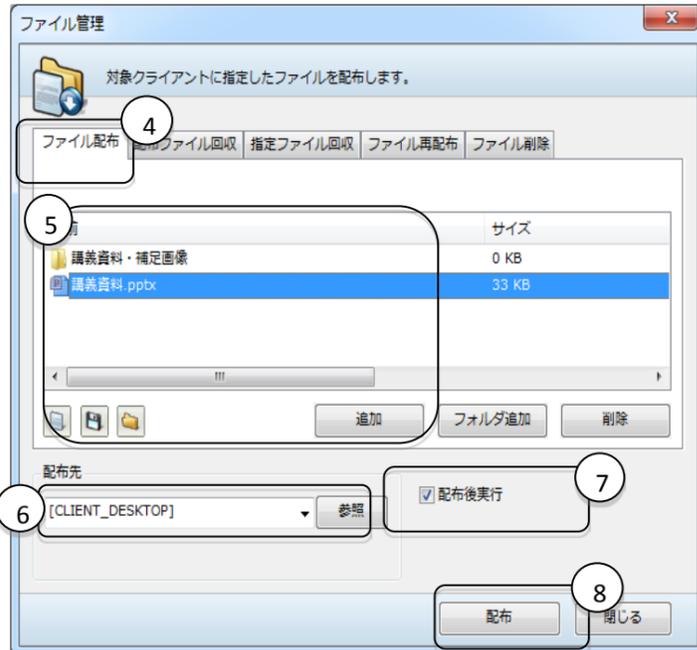
教員から学生(端末)にファイル / フォルダを配布します。

1. サムネイルから配布したい学生画面を選択する
(全台に配布させたい場合は、学生画面外の白い領域をクリックし選択を解除する)

2. 操作パネルの配布・回収ボタンを押す



3. 以下のファイル管理パネルが開きます。



4. ファイル配布タブを選択

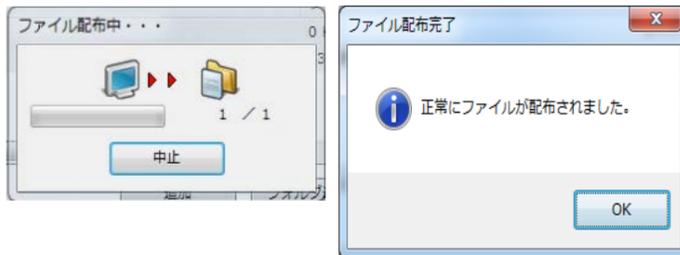
5. 配布したいファイル / フォルダをリストに追加します。

6. 学生(端末)の配布先を指定します。
[CLIENT_DESKTOP]を選択することでデスクトップが選択されます。
デスクトップ以外も選択できますが、学生が見失うためお勧めしません。

7. チェックを入れておくと、配布と同時に、学生(端末)側で強制的にファイルを開きます。

8. 配布するファイル / フォルダをリストで選択し、配布ボタンを押します。

9. 以下の画面変遷とともに、配信が完了します。



10. 学生端末の6で指定した場所に(ここではデスクトップ)に、送信したファイルが保存されます。

6. ファイルの提出

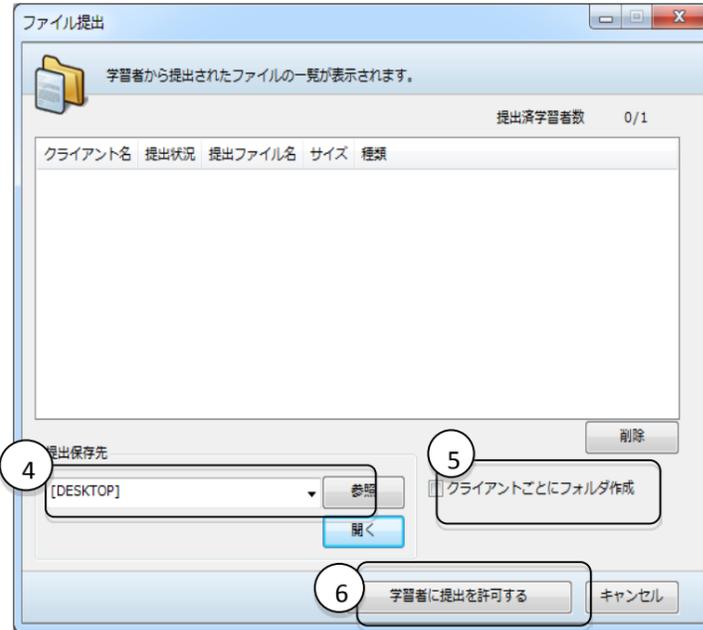
学生(端末)にファイルを提出させます。

- サムネイルから提出させたい学生画面を選択する
(全台に提出させたい場合は、学生画面外の白い領域をクリックし選択を解除する)

- 操作パネルの提出ボタンを押す



- 以下のファイル管理パネルが開きます。



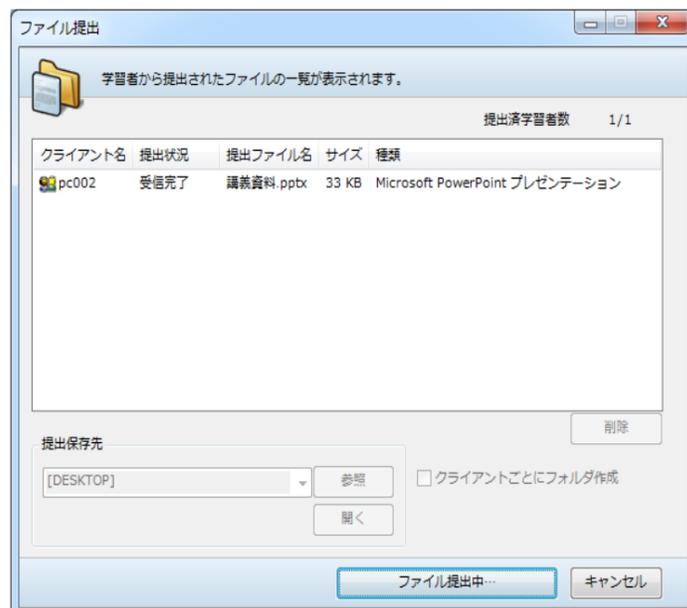
- 学生が提出するファイルを、教員(端末)のどこに保存するかを選択します。
[DESKTOP]を選択することでデスクトップが選択されます。
デスクトップ以外も選択できますが、ファイルを見失うためお勧めしません。

- チェックを入れておくと、提出する学生毎にフォルダが作成されます。
(注意)

提出されるファイルの命名について

- ・フォルダを作成しない場合
ファイル名には、各学生のファイル名重複を避けるため、提出元端末名が先頭に付与され
- ・フォルダを作成しない場合
フォルダには、提出元端末名が自動付与されます。
ファイル名は各学生のファイル名そのままとなります。

- 学習者に提出を許可する、ボタンを押し、待機します。
(注意)
本ボタンを押さない限り、学生は提出できません。



- 提出されると、順にリストに表示されます。
提出ファイルは、5で指定した場所に保存されています。
(注意)
学生は提出中に何度でも提出できます。同名ファイルは提出の度上書きされます。

- 提出(回収)を終了する際には、ファイル提出中ボタンを押し、終了します。

7. カメラ映像配信

教員端末にUSBで接続されるカメラ、マイクを利用し、学生端末に動画配信できます。



1. 教員操作パネルのサムネイルから送信先端末を選択します。
(全台に送信場合は、学生画面外の白い領域をクリックし選択を解除する)
2. 操作パネルのビデオは配信ボタンを押すと、配信用ウィンドウが表示されます。



3. Capture を押すことで配信が開始します。
配信開始まで、キャプチャ準備中となります。

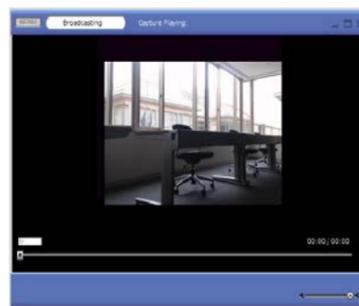


4. 配信が始まると、映像が確認できます。
学生端末にも映像がウィンドウ内に表示されます。

教員端末のウィンドウ



学生端末のウィンドウ



5. 学生端末側のウィンドウが表示方法を変更できます。



- ・普通 / 最大化
学生端末側のウィンドウを最大化できます。
- ・動画のフルスクリーン
動画をウィンドウいっぱいに広げます。
- ・常に最前面に表示
強制的にどのウィンドウよりも前面に表示させます

6. 学生端末ボリュームを教員側から調整できます。
操作パネルの下部の"アプリ"から"ボリューム調整"を表示
"学生端末"を選択し、ボリュームの調整を行う。

7. Captureを再度押すことで終了が可能です。

8. 学生操作

授業支援システムのCalaboを教員端末で起動すると、学生端末のデスクトップには右のような学生用操作パネルが表示され、各種操作が可能になります。

主に

1. 教員にメッセージを送信する
2. 教員が配布したファイルを受け取る
3. 教員が提出を求める際に、ファイルを提出する
4. その他教員端末からの操作を受け付ける

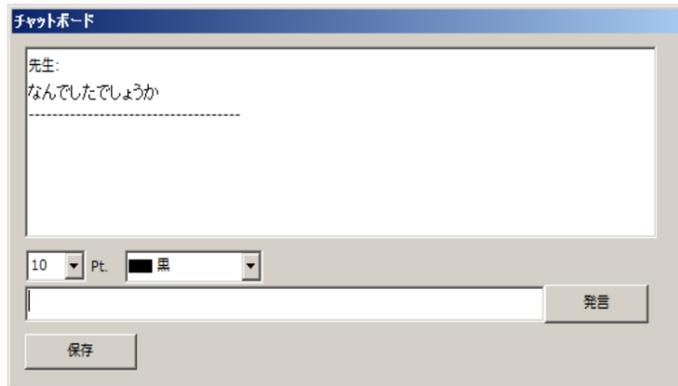


先生呼出

1. 学生操作パネルより、先生呼出ボタンを押し以下の画面を表示させます。



2. メッセージを入力し、送信ボタンを押すことで教員側にメッセージが送信されます。
3. 教員側からの返信は以下の図のように、チャットボードが起動し、表示されます。



4. チャットボードには、学生側からメッセージを再度入力し、発言ボタンを押すことで継続して対話できます。

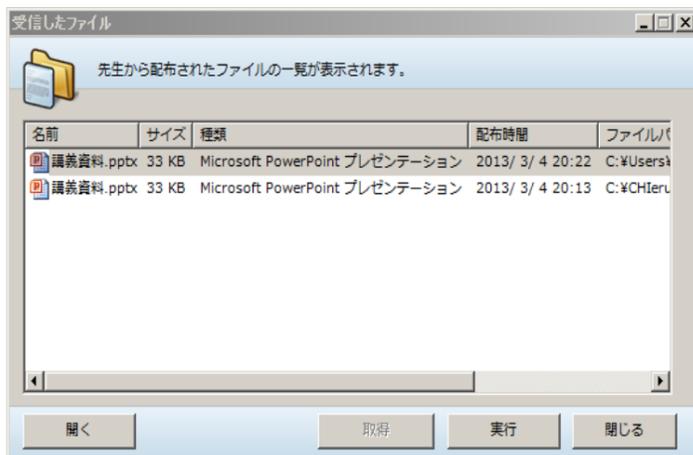
教員からのメッセージ

教員からメッセージ(チャット)送信を受信すると、先のチャットボードが起動し、対話ができます

配布ファイルの受信

教員からファイルが配布されることがあります。

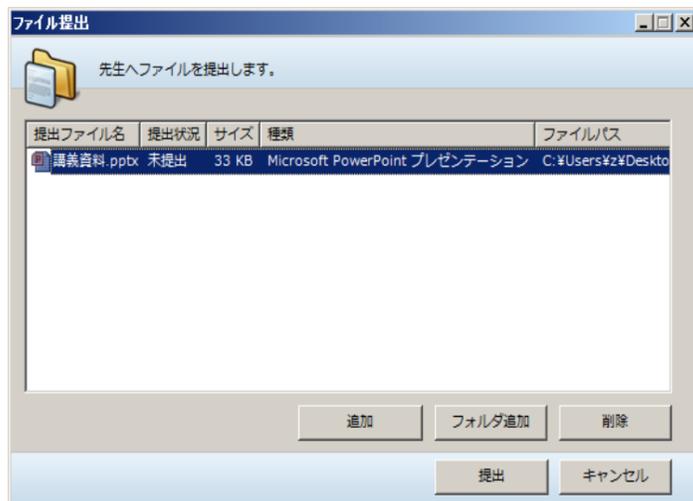
1. ファイルが配布された際には、下図の”受信したファイル”のウィンドウが起動します。
※ 配布されたファイルは、教員野操作により、保存と同時に起動されることがあります。



2. ウィンドウにはこれまで受信したファイルのリストが表示されます。
※ ファイルパスには、受信したファイルの保存先が表示されています。
3. リストからファイルを選択し、開くボタンを押すことで、ファイルの保存先フォルダを開きます
4. リストからファイルを選択肢、実行ボタンを押すことで、ファイルを開くことができます。
5. ウィンドウを閉じた場合、操作パネルの”受信ファイル”から再度ウィンドウを表示可能です。

ファイルの提出

教員からファイルの提出が求められた場合、次のウィンドウが開きます。



1. 追加、もしくはフォルダ追加を押し、提出したいものをリストに追加します。
2. リストから提出したいファイルもしくはフォルダを選択し、提出ボタンを押すことで提出完了となります。
(注意)
提出受付中、何度でも提出が可能ですが、同名ファイルの場合、上書き提出となります。
ウィンドウが閉じてしまった場合、学生操作パネルのファイル提出ボタンより再表示できます

教員画面の受信

教員の操作により、教員画面を受信することがあります。

全画面表示の際には、操作はできません。

ウィンドウ表示の場合には、見やすい位置、サイズに変更して閲覧できます。

教員端末からの学生端末操作

教員画面からの操作により、学生端末を操作されることがあります。

教員操作中は右のアイコンがデスクトップ上に表示され、マウス操作を奪われることがあります。



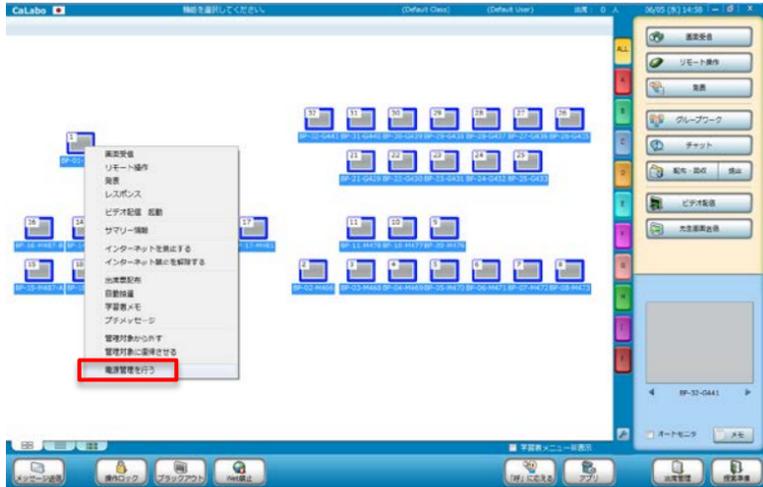
アイコンが消えるとともに、操作は終了します。

【一斉電源ON/OFF】

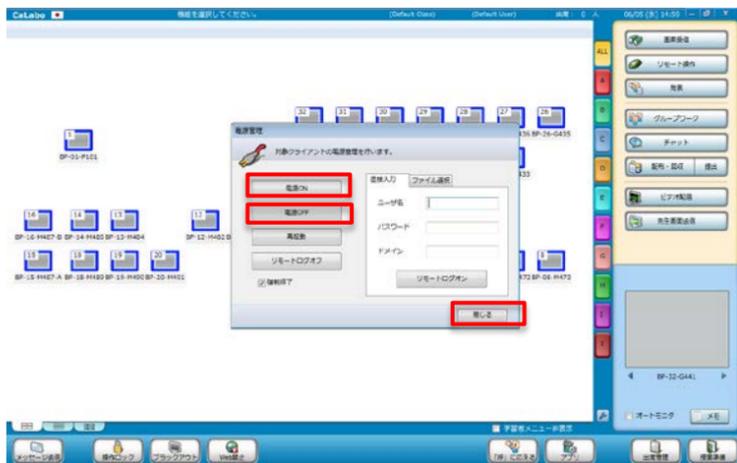
Windows ログイン後、Calabo アイコンをダブルクリックし、起動します。



- ①起動したいディスカッションボードを選択し、右クリックします。
- ②「電源管理を行う」をクリックします。



- ③「電源ON」/「電源OFF」をクリックします。
- ④「閉じる」をクリックします。
- ⑤電源があがってくると、アイコンの色が灰色から水色になります。



【一斉ログイン】

上記①、②の後、ユーザ名とパスワードを入力し、リモートログオンをクリックします。
「閉じる」をクリックします。
しばらくすると、アイコンが水色からデスクトップ壁紙になります

